

プレスリリース

片岡一則センター長、2023 年度「クラリベイト引用栄誉賞」受賞 全世界からノーベル賞級の研究者 23 名が選出

- 世界的な情報サービスプロバイダーである英国・クラリベイト社は、独自のデータ解析技術を用いた学術論文評価に基づき、ノーベル賞級の研究者として全世界から、iCONM の片岡一則センター長を含む 23 名を「クラリベイト引用栄誉賞」受賞者に選出したと本日発表した。
- 同賞は、高被引用論文研究者の中でも特に引用回数が多く、ノーベル賞受賞者と同等の偉業と影響力が評価された研究者に贈られる。
- 片岡センター長は、高被引用論文研究者として 2017 年から 6 年連続、通算 7 回認定されている。
- 今回の受賞は、「革新的な薬剤および遺伝子のターゲティングおよびデリバリー手法の開発への貢献」が評価されたもの。

報道関係者 各位

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。

世界的な情報サービスプロバイダーである英国・クラリベイト社は、同社独自のデータ解析に基づきノーベル賞級の研究成果を創出する研究者を全世界から選出し、Citation Laureates™（引用栄誉賞）としてその功績を讃えています。本日、2023 年度「クラリベイト引用栄誉賞」が発表され、公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の片岡一則センター長が受賞致しましたのでご報告させていただきます。クラリベイト社日本法人である「クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社」が本日発表したプレスリリース（注 1）によれば、全世界から 23 名が受賞し、日本からは片岡センター長を含めて 2 名が選出されたとのこと。同賞は、引用論文実績が極めて高く、研究内容もノーベル賞に値するほど社会への影響力があると評価された研究者に与えられるとのことであり、これまでに同賞受賞者（総数 396 人）のうち 71 人がノーベル賞を受賞しています。

これまで片岡センター長は、異なる性質を有する高分子の鎖（例えば、ポリエチレングリコールとポリアミノ酸）を連結した高分子化合物（ブロックポリマー）を自己会合（Self-Assembly）させることによって、高分子ミセルに代表される様々なナノ構造体を創出し、これらのナノ構造体が生体の免疫機能を潜り抜け、狙った組織で薬剤や遺伝子を放出後、安全に排泄される薬物送達システム（DDS）として機能することを世界に先駆けて実証して来ました。片岡センター長の研究を嚆矢とする高分子ナノ構造体を用いる DDS（ナノ DDS）の研究開発は、現在、世界各国の研究グループへと拡がりを見せてお

り、様々な薬剤、タンパク質、核酸医薬、mRNA、遺伝子を体内に運び、適切に機能させるシステムへと展開されています。

注1：クラリバイト社のプレスリリースは、以下のサイトをご参照ください。

<https://clarivate.com/ja/news/clarivate-unveils-citation-laureates-2023-annual-list-of-researchers-of-nobel-class>

<片岡一則 ナノ医療イノベーションセンター センター長 略歴>



川崎市産業振興財団 副理事長、ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) センター長、東京大学名誉教授。

過去 40 年間にわたり、バイオマテリアルの分野、特にドラッグデリバリー/ドラッグターゲティング、非ウイルス性遺伝子ベクター、ナノ医療の分野で数多くの実績をあげ、これまでに 700 報超の査読付き論文を発表し、クラリバイト社の解析では 69,000 回以上引用されています (h-index は 139)。また、2017 年から現在まで 6 年連続、計 7 回、トップ 1 % 高被引用論文著者として認定されています。特許の数も 600 件を超え、スタートアップ企業 5 社の設立にも関与しています。主な受賞としては、米国バイオマテリアル学会賞 (Clemson Award)(2004)、米国 Controlled Release 学会賞 (Founder's Award) (2006)、NIMS Award (2009)、フンボルト賞 (2012)、江崎玲於奈賞 (2012)、高松宮癌研究

基金学術賞 (2017)、Biomaterials Global Impact Award (2023)、向井賞 (2023) など多数の受賞歴があり、日本工学アカデミー (2011)、米国工学アカデミー (2017)、米国発明家アカデミー (2017) にも選出されています。現在、iCONM では片岡センター長の下、ナノ DDS をさらに進化させたナノマシンの研究や在宅でも使えるナノ医療技術の開発が進められており、未来の「体内病院」の実現を目指して、ここ数年で 10 社のスタートアップ企業が設立されました。

<クラリバイト引用栄誉賞の選定方法>

原文は、[Methodology - Clarivate](#) をご参照ください。

クラリバイト社のアナリストが引用栄誉賞受賞者をノミネートする際、ノーベル賞委員会が目をつける規模の重大な発見や革新に、引用度の高い業績が明らかに関連している事例を絞り込んでいます。また、ノーベル賞受賞に先行して授与されることの多い賞 (例えば、生物医学におけるラスカー賞など) も参考にしています。権威ある賞の受賞に関する情報は、クラリバイトの定量的な引用ベースの分析 (ノーベル賞受賞に値する科学者を特定するためのクラリバイト独自のアプローチ) を、過去の査読決定から生じる定性的な考察で補うものです。これらの基準を満たした候補者は、過去の査読決定から生じる考慮事項を特定したうえで、正式に引用栄誉賞受賞者となります。但し、引用栄誉賞受賞者は、特定の

年のノーベル賞受賞者を予測するものではありません。社会学者ハリエット・ザッカーマンの言葉を借りれば、"賞を受賞すること以外のある意味において、受賞者に匹敵する "ノーベル賞クラスの研究者を特定します。すべての引用栄誉賞受賞者がノーベル賞受賞者になれるわけではありませんが、この人達の研究業績は注目され、称えられるべきだと考えています。

クラリバイト社について

Clarivate は、世界有数の情報サービスプロバイダーです。当社は、人と組織を信頼性の高いインテリジェンスでつなぎ、人々の視点、仕事、そして世界を変えます。学術・政府機関、ライフサイエンス・ヘルスケアおよび知的財産の分野で深い専門知識と結びついたサブスクリプションおよびテクノロジーベースのソリューションを提供しております。

<https://clarivate.com/ja/>

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の 100%出捐により昭和 63 年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と 実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

2023 年 9 月 19 日